

2018 第50回 学習工学セミナー「教育におけるメディアと情報」

主題 主体的・対話的で深い学びとICTの活用

私はもうずいぶん前に、私の授業を受講している名大の学生を対象に「コンピュータで学ぶ授業で教材に間違いがあったとき、教師が教える授業で教材に間違いがあったときでは、どちらがより嫌か？」という調査をしたことがあります。みなさんは、学生は、どちらだと答えたいと思いますか？私は「コンピュータの方が嫌だ」という意見が多いと予想していました。しかし、学生の答えは私の予想に反するものでした。だからといってそれは、「人間の教師の方が嫌だ」という答えでもありませんでした。学生の答えは「人間の教師のときは、それが嫌か嫌でないかは、その教師による。だから、人間とコンピュータとでどちらがより嫌だとは言えない」というものでした。そして、これは、ほぼ全員の学生の答えでした。「では、どんな教師なら嫌で、どんな教師なら嫌でないのか」を聞いたところ、それは一人一人の学生によって違っていました。

私はこれを聞いたとき、冷や水を浴びせられた思いがしました。人間の教師は一人一人違います。そのお互いに違う教師が、一人一人違う子どもに異なる仕方で接します。それが、人間教師の価値であり力であるし、それこそが教育に豊かさをもたらすのです。そのことを、私はその時、改めて学生から教わったのです。

ICTの教育利用を考えると、それを効率的で最適な教育のために使おうとするなら、この人間教師の良さを損なってしまいます。ICTは一人一人の教師の豊かさを支え、生かし、それを育むように使うべきです。そしてそれが、一人一人の子どもの豊かさを支え、生かし、それを育むのだと思うのです。その意味では、現在求められている「プログラミング的思考」とは、定式的で最適な思考のことではなく、一人一人の個性が生きた思考であるべきだと、私は考えています。

さて、今年の講師には、初等中等教育の現場を対象に思考力育成のための学習環境を研究していらっしゃる、鳴門教育大学教職実践力高度化コースの泰山 裕(たいざん ゆう)先生をお招きしています。泰山先生とともに、教育の豊かさについても考えていけたらと願っています。

学習工学研究会会長 大谷 尚

名古屋大学大学院教授・高大接続研究センター長

元名古屋大学教育学部附属中・高等学校校長

1 日時 平成 30年 8月 9日 (木) 9:00 ~ 16:30

2 会場 名古屋情報メディア専門学校 名古屋市熱田区大宝四丁目19-14

3 主催 学習工学研究会

4 後援 愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、愛知県小中学校長会、名古屋市立小中学校長会、名古屋市教育研究協議会、愛知県視聴覚教育研究協議会、名古屋市情報教育研究会、日本教育工学協会

5 日程 <8月 9日 (木)>

8:40	9:00	9:40	12:30	13:30	14:30	14:40	16:10	16:30
受付	開会 行事 オリエン テーション	ワークショップ 1~4	昼食	講演 「今求められる情報活用能力と 学習環境」 講師 泰山 裕 先生 (鳴門教育大学 准教授)		シンポジウム		閉会 行事 総会

※ 昼食は各自ご用意ください。教室を昼食場所としてご用意します。

校外には六番町駅付近(会場から約100m)に飲食店があります。

6 オリエンテーション

学習工学研究会会長 大谷 尚 名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授

7 ワークショップ 次のワークショップ1~4 いずれかをお選びください。

<p>ワークショップ1 「道徳科における情報モラルの授業作り」</p> <p>講師：金城学院大学 教授 長谷川元洋</p>	<p>道徳科の授業において、情報モラルの題材を扱う際には、道徳教育の観点からの目標と情報教育の観点からの目標の両方からの検討が必要です。これは、新学習指導要領で謳われている「物事を多面的・多角的に考える」ことのできる道徳科の授業を作るために必須の作業であると考えています。教材を複眼的に検討し、指導案作成演習を行います。なお、道徳科における情報モラル教育に関する研究にご協力をお願いします。【持ち物】USBメモリ、指導案作成に必要な資料(教科書、副読本等：資料がない方には長谷川が用意する資料で演習ができるようにします)</p>
<p>ワークショップ2 「プログラミング的思考の育成講座」</p> <p>講師：椙山女学園大学 助手 加藤良将</p>	<p>マイコンボード(Arduino)を使った電子工作を通して、身の回りの電子機器の動作がどのような組み合わせによって表現されているかを体験します。コンピュータを使った問題の解決や表現の方法について学び、子どもたちのプログラミング的思考の育成の環境づくりについて考えていきます。【持ち物】ノートPC(ArduinoIDEを事前にインストール済み、または当日ワークショップの開始前にUSBメモリで配布)</p>
<p>ワークショップ3 「授業記録・映像を使った授業研究」</p> <p>講師：名古屋大学大学院 教授 柴田好章 名古屋大学大学院 准教授 坂本将暢 春日井市立出川小学校教諭 久川慶貴</p>	<p>授業実践(小学校6年社会科)の授業記録の読みやビデオ視聴、参加者相互の意見交換をします。子どもが教科書や資料から何をどのように気づき考えるのか、あるいはそれをどのように共有するのかについて検討します。また、その活動の中でどのようにICTを活用すれば、子どもの思考や表現を促進できるのか、学びを深めることができるのかについても検討します。【持ち物】USBメモリ</p>
<p>ワークショップ4 「ICTを活用した授業実践講座」</p> <p>講師：春日井市立出川小学校校長 水谷年孝 他</p>	<p>タブレット活用以前に、まず誰でも取り組むことが可能な日常的なICT活用(実物投影机やフラッシュ型教材の活用等)について模擬授業などを通して学びます。【持ち物】なし</p>

8 講演 「今求められる情報活用能力と学習環境」

ゲスト講師 泰山 裕 (鳴門教育大学 准教授)

【メッセージ】 現在、変化の激しい社会を生き抜くための資質・能力を育成することが求められています。新学習指導要領において学習の基盤となる資質・能力として挙げられている情報活用能力もその一つです。情報活用能力とは何か？ 育成のカリキュラム・マネジメントとは？ プログラミング教育との関係は？ ICT活用との関係は？ 様々な視点から2020年に向けて必要な学習環境を考えたいと思います。

9 シンポジウム 「主体的・対話的で深い学びとICTの活用」

コーディネーター：大谷 尚 パネリスト：泰山 裕、長谷川元洋、加藤良将、柴田 好章、水谷年孝

10 参加費 (当日受付にて集めさせていただきます。)

2,000円(学生 1,000円)

11 申し込み方法 Webサイト(ホームページ)からお申し込みください。

<http://gakusyu-kougaku.com/> にアクセスし、「申し込みフォーム」から申し込んでください。

※ 申込は、7月20日(金)までお願いいたします。 ※ 当日受付も行います。

12 問い合わせ先(学習工学セミナー事務局)

〒458-0047 名古屋市緑区古鳴海二丁目161番地の1

名古屋市立長根台小学校内 学習工学セミナー事務局 (校長 山口陽一) TEL.052-891-8801

13 会場へのご案内

「名古屋情報メディア専門学校」 名古屋市熱田区大宝四丁目19-14 TEL 052-681-9500

※ 駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。

